

■PARTY GROOVE
～阿南ダンスフェスティバル～
ワークショップと出演者募集

ワークショップ 3月10日(土)

- ▶入門コース (初めてのヒップホップダンス)
13:30～15:00
参加費 1,000円 (保険料含む)
- ▶初級コース (経験者)
15:30～17:00
参加費 2,500円 (保険料含む)

場所 夢ホール (文化会館) 視聴覚室

参加資格 小学3年生以上から一般の方

定員 各コース50人 (申込順)

講師 T A I C H I

申込方法 3月6日(木)までに電子メールで「①名前②年齢③コース名④連絡先電話番号⑤住所」をお送りください。

メールアドレス bunka@city.anan.tokushima.jp

ダンスフェスティバル出演者募集

開催日時 3月11日(日) 14:00開演

場所 夢ホール (文化会館)

定員 16チーム (申込順)

申込方法 「①チーム名②代表者の氏名、連絡先、住所③メンバー全員の氏名、ダンス名④ジャンル⑤音源(CD)」を文化会館へ提出してください。(郵送可)

参加費 1人4,000円 (入場チケット4枚付き)

申込締切日 2月26日(日)

ゲスト T A I C H I & A O I

申込み・問い合わせは

〒774-0030 阿南市富岡町西池田135番地1

文化会館 (☎21-0808) へ

※個人情報は目的以外には使用しません。



■明治大学マンドリン倶楽部演奏会

懐かしく、親しみやすい音色のマンドリンが奏でるクラシックからポップスをお楽しみください。

今回は、ゲストにデビュー60周年を迎えたペギー葉山さんが出演します。

日時 3月2日(金) 18:30開演

場所 コスモホール (情報文化センター)

ゲスト ペギー葉山

演奏曲 「美空ひばりメドレー」
「G線上のアリア」ほか

入場料 2,500円 (全席自由)

※当日は500円増しで、未就学児は入場できません。

チケット販売場所 情報文化センター、文化会館、市民会館、平惣書店各店ほか。

問い合わせは 情報文化センター (☎44-5000) へ



■村おこし伝統文化フェスティバル

子どもの頃に見た「おまつり」の風景。阿南市内に伝わる伝統文化の団体が一堂に会してのイベントです。

日時 2月25日(土) 10:00開演 場所 夢ホール

入場料 無料 ※入場整理券等は必要ありません。

出演団体 (順不同) ▶人形浄瑠璃…中村園太夫座、山口座木偶保存会▶獅子舞…原の獅子舞保存会、浦ノ内獅子舞保存会、橘だんじり祭り西組▶お囃子…橘だんじり祭り城戸組、西方祭り囃子保存会▶羽ノ浦地区祭りの放映…羽ノ浦町の伝統文化を伝える会▶富岡地区祭りの放映…ボランティア中年探偵団▶福井地区写真展示…福井町伝統文化保存会

問い合わせは 文化会館 (☎21-0808) へ

平成24年度
友の会会員募集

科学センターでは、平成24年度友の会会員を募集しています。友の会に入会すると月1回、科学工作や科学実験などの特別事業に参加でき、夜間の定期観望会にも無料で参加できます。

年会費 個人会員 2千円
家族会員 3千円

※家族会員は同居していれば何人でも可。

入会方法 科学センター備え付けの申込書に必要事項を記入のうえ、年会費を添えて申し込んでください。

※平成24年度第1回目の活動は、5月20日(日)を予定しています。



阿南市の文化財

阿南市文化財保護審議会

会長 湯 浅 良 幸

那賀山庄(荘)

荘(庄)園

荘(庄)園について説明しておこう。律令体制は土地の国有化、人民の一元的支配を基本とした。統治も中央政府、国司、郡司等によって国家、国、郡を系列的に支配した。

しかし、天平十五(七四三)年の墾田永代私有法によって土地公有の原則はくずれた。当初は貴族・社寺等による開墾を主とした初期荘園が生まれた。私有地であるから不輸、不入つまり国家による税の徴収、警察・裁判等権力の介入が除外された。

以来、地方豪族や中小の荘園主は中央の権力者、大社寺に荘園を名義上寄進して自分は実質的に地頭として荘園

を保持した。

荘園の増加は当然、国家財政の窮乏化を招き、朝廷は再三荘園整理令を出したが、実効はなかった。このため荘園は戦国末期まで存在した。

那賀山庄

那賀山庄(荘)は後白河院領であったが、同上皇から皇女宣陽門院に譲られ、更に同院から長講堂に寄進された。やがて天竜寺の請所となり実質的には天竜寺領となった。

同庄の区域は阿南市加茂谷、那賀郡木沢村、木頭村、相生町、鷲敷町、那賀川町(中島を除く)に及んだ。

庄域是那賀川のほぼ全流域にわたる大きなもので平島郷、大由郷、加茂郷、和食郷、延野郷、仁宇郷を包括している。

暦応三(南朝・興国元年1134)年六月十五日、足利尊氏から天竜寺造営料所としてこの庄の地頭職を天竜寺へ寄進している。尊氏は後醍醐天皇のため暦応寺(のち天竜寺と改称)の建立にとりかかった。造営料所の一つとして那賀山庄が寄進された。ところが、暦応四年那賀山庄地頭職是那賀山庄山手分(河手分を除く)に変更している。

天竜寺は貞和元(南朝・興国六年1135)年八月落成したが、延文三(1358)年、貞治六(1367)年火災にあつた。朝廷では天竜寺の再建に着手。再建料所として那賀山庄内の平島郷、大由郷を寄進している。ただし地方武士の押領ある場合は寄進出来ないとしたし書を付けている。当時、地方豪族が荘園に



大由郷は大井郷説が有力である。

介入していたことがわかる。

大由(大井か)郷はすでに京都・鴨神領であった。しかし、阿波国守護小笠原氏が地頭職に補任されている。下鴨神社社家文書によると、大由郷は木材の主産地であることがわかる。

また、賀(加)茂郷、和食郷は永徳二(南朝・弘和二年1138)年曹洞宗本山、興聖寺(宇治市)に寄進されている。

那賀山庄も庄内の移動が激しいが、荘園の典型の一つとみてよいだろう。(終わり)

先月号に掲載した写真の説明書きが「伊島の町並み」となっていますが「沼島の町並み」の間違いです。お詫びし、訂正いたします。

おもしろ科学実験(無料)

科学の原理や不思議さなど、実験を通して楽しく学んでいただきます。

2月の実施日時とテーマ

毎週土・日曜日の午前11時〜、午後2時〜の2回実施しています。

- 4日(土) 立春の日には生卵が立つというなぜ
- 5日(日) 入浴剤で火山噴火の実験をしよう
- 11日(土) 日本の発電機を実験しよう
- 12日(日) 電子レンジで氷をとかせるかな?
- 18日(土) 不思議な図形で錯視を体験しよう
- 19日(日) ビー玉エンジンにチャレンジしよう
- 25日(土) 水や氷のレンズでものを拡大しよう
- 26日(日) 静電気で遊ぼう

夜間天体観望会(無料予約不要)

天体ドーム故障のため、3月までは口径35センチの天体望遠鏡を使った無料の夜間天体観望会を実施しています。

実施日時 毎週土曜日の午後7〜9時

参加方法 実施時間内であれば自由に参加できます。天文館2階観望デッキに設置してあるスライディングルーフまでお越しください。

2月の観望天体 木星、オリオン座大星雲すばる、カニ星雲、ぎよしゃ座の散開星団など

問い合わせは 科学センター

(☎42-1600)へ

2月の休館日

6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)